



けやきっ子

六栄小学校だより 第38号 令和8年2月5日(木) 文責：久保田 真二



学校ホームページ
もご覧ください

豊かな仲間意識を育む異学年交流・大縄チャレンジ

3月6日(金)のお別れ遠足では、みんながもっと仲良くなることを願って、「大縄チャレンジ」を計画しています。一本の縄を囲み、声を掛け合い、タイミングを合わせて跳ぶ中で、子どもたちは人につながる喜びや、社会性を自然に学んでくれるものと期待しています。

今週から、毎週火曜日の昼休み後に、同じ地区の異学年の子どもたちがグループをつくり、八の字跳びの練習に取り組んでいます。2月3日(火)の第1回練習では、学年の枠を越えて励まし合い、笑顔で活動する子どもたちの姿が見られました。その様子に、異学年交流の大切さと、子どもたちのもつ力の大きさを改めて感じたところです。



大縄チャレンジの練習に笑顔で活動する子どもたちの様子

寒い中、校内環境整備に感謝・手伝う子どもに感心！

毎日早朝より、戸越前教育長が本校の樹木の剪定や除草作業を行ってくださっています。最近は朝の冷え込みも厳しく、氷点下になる日も少なくありませんが、そのような中でも黙々と作業を続けてくださいました。そのおかげで、校庭は見違える

ほどきれいに整備されました。心より感謝申し上げます。

さて、その戸越前教育長の姿を見て、そっと手伝ってくれた4年生の男子児童

がいました。寒い中、一緒に刈り取った草を集めてくれたのです。大人の姿から何かを感じ取り、「自分にできること」を考え、行動に移せる児童が育っていることを、とても嬉しく、そして誇らしく思いました。



戸越前教育長と、進んでお手伝いをしてくれた益田悠冬さん



きれいに選定された樹木と、きれいに草取りがされた後の花壇の様子

どうかご理解とご協力をお願いいたします

今週に入り、インフルエンザや風邪などで体調を崩す児童が少しずつ増えてきました。それに伴い、教職員も体調不良や子どもの看護、出張等が重なり、十分な人数を確保できない日が出てくる場合があります。担任が不在の場合は、管理職や他の教職員が補欠に入り、できる限り通常どおりの教育活動を行っています。しかし、状況によっては、どうしても人手が足りない場合もあります。その際には、児童の安全を最優先に考え、やむを得ず時間割より早く下校させる場合があります。早く下校させる場合には、安心安全メールでできるだけ早くお知らせするよう努めていますが、急な判断となり、連絡が間に合わない場合も考えられます。子どもたちが安全に一日を終えられるよう、学校として最善の判断を重ねてまいります。どうかご理解とご協力をお願いいたします。